

伊方町農業支援センターだより

Farmer's Communication Magazine For IKATA Member's



伊方地区青年農業者協議会が伊方みかん PR の一環として Instagram を使ったプレミアムミカンプレゼントキャンペーンを行いました。700 件以上の投稿があり、抽選で 5 名の方にプレゼントしました。

CONTENTS

1. 表紙：プレミアムミカンプレゼントキャンペーン当選者
2. 温州・中晩柑の出荷量、価格推移
3. 地域おこし協力隊活動報告
4. 新・農業人フェア参加（西宇和みかん支援隊）
5. アシストスーツ着用で負担軽減
6. 日本農業遺産認定「復興マルシェ」
7. ニューフェイス紹介
8. 農業委員会からのお知らせ

伊方町イメージキャラクター

サボロディー



No.29

企画発行 / 伊方町地域担い手育成総合支援協議会（伊方町農業支援センター内）
 〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-2
 JAにしよう伊方支店 営農管理センター内
 TEL (0894) 38-0311 FAX (0894) 38-1063

◆ 瀬戸・三崎地域の受付窓口 ◆
 瀬戸支所地域住民室 TEL (0894) 52-0111
 三崎支所地域住民室 TEL (0894) 54-1111

かんきつ価格好調！

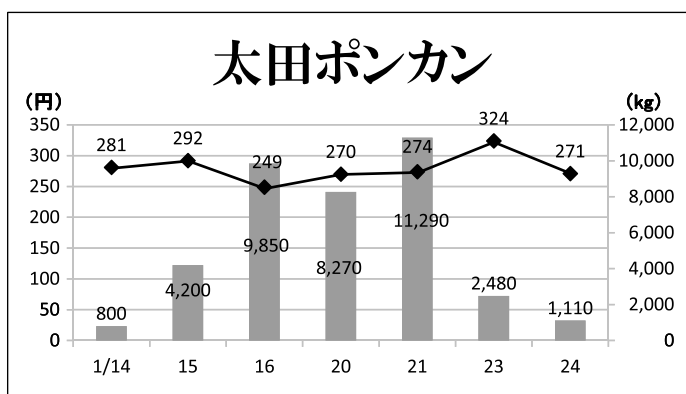
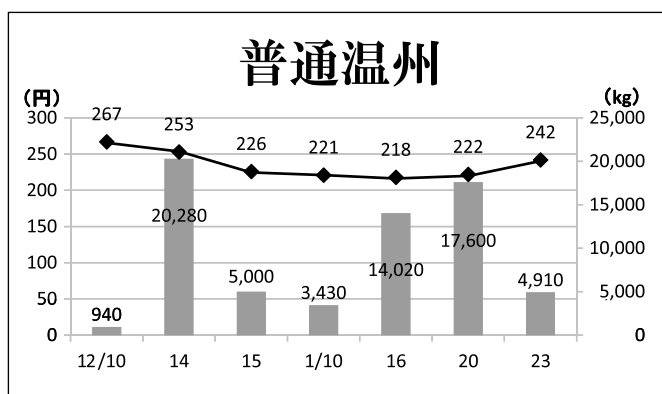
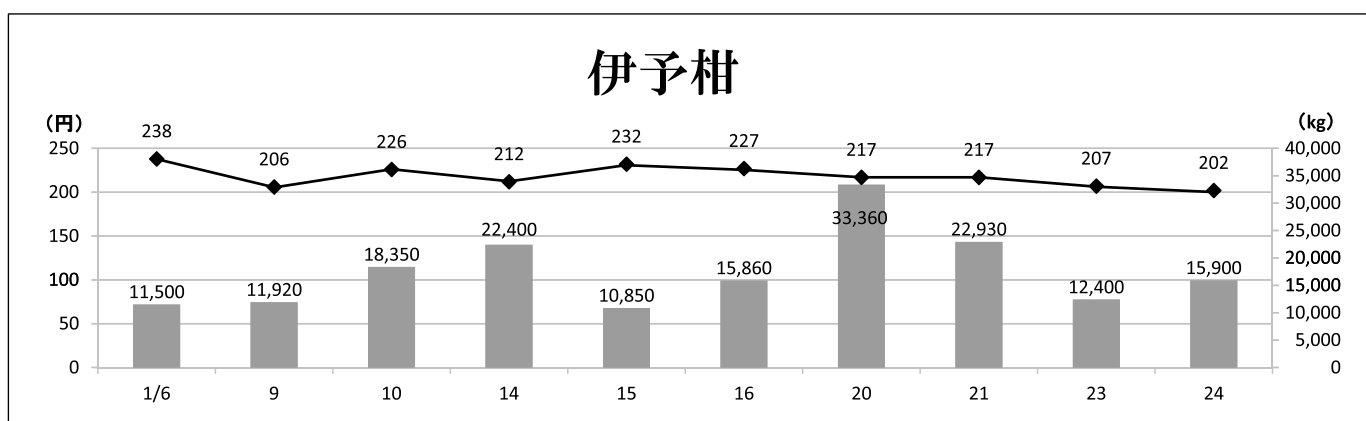
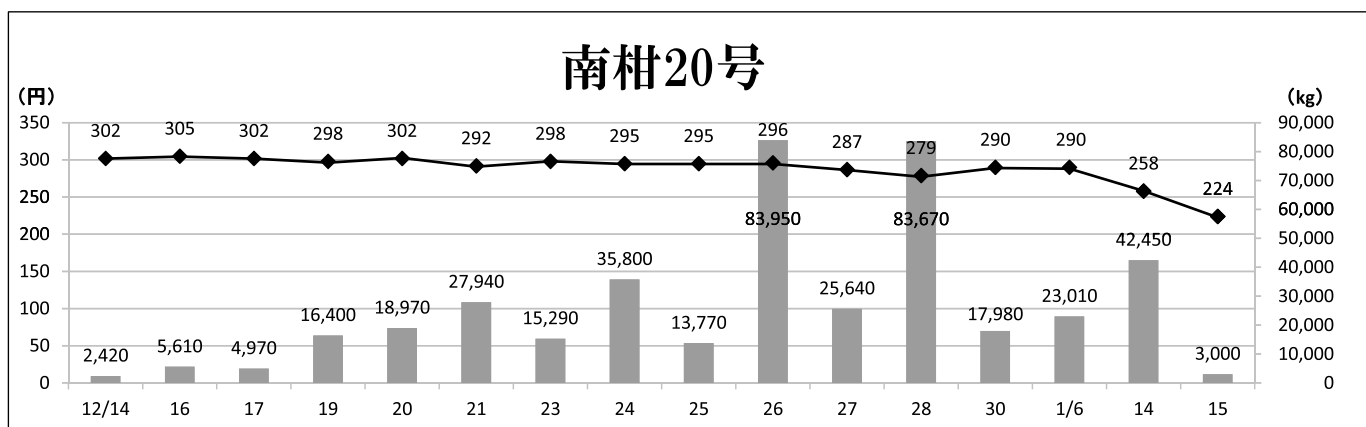
この各表は、南柑20号・普通温州・伊予柑・太田ポンカンの伊方共選の各取引市場（12月中旬～1月下旬）でのレギュラーの平均相場と出荷量を示したものです。

平均単価は、昨年並みで早生同様好調に推移をしていると思われます。

出荷に関しては、着色が悪く遅れていましたが、気象災害もなく数量は昨年並みとなっています。

平均相場と出荷量

◆ 平均相場 (円)
■ 出荷量 (kg)





おおくぼ、農業女子はじめました。

2020年オリンピックイヤー到来！7月24日から開会する東京オリンピック大会期間中の首都圏は、現在の人口の約2倍弱の来街者を吸収するという予測です。東京は+1000万人の過密都市に…そんな東京で柑橘は、どう売られているのか？実際にバイヤーさんへお伺いし、教えていただきました。

今回は紀伊国屋青山インターナショナル店、渋谷店、池袋店をお訪ねしました。紀伊国屋は果物商からスタートした日本初のセルフサービス・スーパーマーケットを開店したお店です。

青山インターナショナル店では、おもてなし、そして、誰かに贈りたい。といった特別な果物がお店には並んでいます。果物の品揃えは、店舗内でも1番多いそうです。「紀伊国屋で並んでいる商品だから、いいものである」という考えのお客様が買いものにいらっしゃいます。試食をせずに、値段を見ずに、買っていかれる方が多いようです。店舗には、ぴかぴかの西宇和産のせとか、甘平がしっかりとした値段で並べられていました。

また、商品棚の中から目を引く商品の並べ方もされていました。1つのパックに緑の袋掛けをされたみかんも入っていて、オレンジと緑の配色が鮮やかに見えます。すでにラッピングされている商品も棚には並んでいて、プレゼントに使いたいお客様のニーズにもすぐに対応できる仕組みになっていました。

一流のお店では柑橘も大切に販売されていました。スーパーなのにワクワクする…！販売方法、見せ方、とても勉強になりました。



～担い手確保へ向けて～ 新・農業人フェア参加

西宇和みかん支援隊

令和2年1月25日、東京池袋サンシャインシティにおいて、新・農業人フェアが開催され、西宇和みかん支援隊も参加しました。全国各地から北は北海道、南は九州・沖縄まで集まり、当日は264団体、842名の来場者で賑やかに行われました。

同フェアは、農業に関心のある方、仕事として農業を考えている方などが気軽に情報を得られるイベントです。みかん支援隊のブースには東京都や神奈川県在住の農業経験はないが、柑橘に興味があり将来的に就農も選択肢の一つと考えている方や実家が農家で将来的には就農するため研修場所を探している方々4組(5名)が訪れました。

県・市・JA担当者及び伊方支援チームのメンバーたちは面談シートを確認しながら、西宇和地域の紹介と就農するためのステップ、みかん支援隊での取り組みを説明。また農業体験ツアーも紹介しました。今回四国のブースは入口から遠く離れていたこともあり面談者は少なかったですが、一方、入り口付近の北海道ブースは面談者が多かったようです。

面談に来ていただいた皆さんは担当者の話に耳を傾けながら、時折質問したりなど熱心に話を聞いていました。支援隊では西宇和産地を守るため、今後も一人でも多くの担い手を確保できるよう努めていきたいと思えます。



農作業時にアシストスーツを着用し、腰や背中をサポート

柑橘の収穫・運搬、選果作業は、生産者にとって、腰や背中などに負担がかかり、その軽減を望む声が多くあります。

この声に応える一つの方法として、生産者の体に装着し、体の動きをサポートするアシストスーツの開発が進み販売されています。中でも、バッテリーや電源を使用せず腰や背中の動きをサポートするアシストスーツは、ゴムやバネなどを用いたシンプルな構造のため、軽量で、価格は、15,000円から40,000円程度と比較的手頃に購入できます。

八幡浜支局地域農業育成室では、次の5種類の無動力アシストスーツについて着用体験を実施していますので、サポート効果が期待できるアシストスーツを試してみましよう。

無動力アシストスーツ



① ワーキングパワースーツ



② アグリパワースーツ



③ ラクニエ



④ タスカル



⑤ スマートスーツ

番号	名 称	サイズ
①	ワーキングパワースーツ	LL
②	アグリパワースーツ	LL
③	腰部サポートウェア「ラクニエ」	L・M
④	腰楽スーツ「タスカル」	M
⑤	スマートスーツ	M

アシストスーツを貸し出します。

連絡先

八幡浜支局地域農業育成室
☎ 0894-23-0163

日本農業遺産認定 「復興マルシェ」開催！

昨年2月に「愛媛・南予の柑橘農業システム」が日本農業遺産に認定されました。

南予地域の伝統や地域のつながりは、災害からの復興に大きな役割を果たしています。

今回、多くの方に「愛媛・南予の柑橘農業システム」を知っていただくとともに、西日本豪雨からの復興を支援するため、令和2年1月から2月にかけて、関係5市町（西予市、八幡浜市、伊方町、愛南町、宇和島市）の道の駅において「復興マルシェ」が開催されました。各道の駅では、柑橘ジュースや柑橘ジュレ、柑橘化粧品など、南予産柑橘を活用した商品の販売や、「愛媛・南予の柑橘農業システム」アンケートにお答えいただいた方を対象にクイズ大会が行われました。

伊方町では1月26日（日）に道の駅「伊方きらら館」で開催され、地元農家が柑橘やジュースの販売を行いました。また、施設内には「愛媛・南予の柑橘農業システム」を紹介するパネル展示や、平成30年7月豪雨の被災状況や復旧の様子の写真も展示され、訪れた方は興味深そうに見学していました。



日本農業遺産認定「愛媛・南予の柑橘農業システム」を広くPRするため、ロゴマークが制定されています。愛媛南予地域農業遺産推進協議会に使用届出を行い受理されれば、各種商品等に活用することができますので、使用希望される場合は農業支援センターまでご相談ください。



NEW FACE

就農して5年以内の新規就農者を紹介します！



■ ■ ■
就農年：平成29年
住年所：伊方町大久
年 齡：42歳
石崎 憲治 さん

- ①就農のきっかけは？
農業を経営してみたいとおもったから
- ②農家に対するイメージは？
定年退職無し
- ③今後の目標は？
規模拡大と経営安定
- ④伊方町に望むことは？
町内で働きやすい環境づくりをお願いします。
- ⑤活用助成金
農業次世代人材投資資金（国補助）



■ ■ ■
就農年：平成28年
住年所：伊方町大久
年 齡：38歳
阿部 光章 さん

- ①就農のきっかけは？
高齢化の進む地域の農業を守っていこうと思ったから
- ②農家に対するイメージは？
天候に左右されるが、やりがいをもってやれる職業
- ③今後の目標は？
胸張って一人前の農家と言えるようになる
- ④伊方町に望むことは？
若い人が転出しにくい町づくりをお願いします
- ⑤活用助成金
農業次世代人材投資資金（国補助）



■ ■ ■
就農年：平成30年
住年所：伊方町中之浜
年 齡：23歳
田中 善樹 さん

- ①就農のきっかけは？
小さい頃からいつかみかん農家を継ぐと決めていたから
- ②農家に対するイメージは？
シーズン中は大変だけど会社にいるのとくらべて自由がきく
- ③今後の目標は？
新しいことに挑戦
- ④伊方町に望むことは？
Uターン、Iターンしたくなる伊方町に！
- ⑤活用助成金
新規就業者支援事業（町補助）



■ ■ ■
就農年：平成30年
住年所：伊方町湊浦
年 齡：24歳
三好 大貴 さん

- ①就農のきっかけは？
小さい時から携わってきて農作業が好きだから
- ②農家に対するイメージは？
忙しい、休みが自由
- ③今後の目標は？
面積を増やして、いっぱい作る
- ④伊方町に望むことは？
望むことがないくらい良い町です
- ⑤活用助成金
新規就業者支援事業（町補助）

**農家の思いを伝え
農業・農村の「未来」を
ともに考えます。**



全国農業新聞は
地域農業者の代表機関である
農業委員会のネットワークが
発行する週刊の農業総合専門紙です。

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 月4回金曜日発行
月700円 年8,400円(税込)

■購読の申込みは、お住まいの市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。

■発行所
一般社団法人
全国農業会議所
〒102-0084
東京都千代田区二番町9-8
中央労働基準協会ビル2F
☎ 03-6910-1130
☎ 03-3261-5132
✉ gyoumu@nca.or.jp
http://www.nca.or.jp/shiribun

農業者の視点でお届けします

- ① 特長のある週刊新聞 ……→ 解説に力点をあいた企画編集とニュース報道
- ② 時代に鋭く斬り込む ……→ 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ③ 経営に役立つ ……→ 知っておきたい経営・流通情報と経営マインド
- ④ 喜びや悩みを共感できる ……→ 読者の心に訴え、ともに考える
- ⑤ 読みやすく親しみやすい ……→ 老若男女が楽しむ読める

総合、ニュース、 農政・解説面	<p>企画 農政・時事・経営問題の企画解説とニュース</p> <p>連載 農業者コラム、深層、主張、農政企画解説、山下惣一さんのマンガ「古い楽の農」(年4回)、人…他</p>
経営・技術・ 流通面	<p>企画 流通、販売、技術情報など、経営に役立つ最新の情報を提供</p> <p>連載 流通・マーケティング、川下情報、水田・畜産経営情報、気象、ゼミナール、農人伝、女性の起業、土づくり…他</p>
農業委員会面	<p>企画 農地を活かし、担い手を応援する農業委員会組織の活動を紹介</p> <p>連載 農委活動の道しるべ、農地の法律や農地利用の最適化、女性農委活動、農業者年金…他</p>
食・農・生活情報	<p>企画 食と農の可能性を探る現地情報を提供</p> <p>連載 野菜・果実の品種、東京の食の動き、投稿、テレビ小説予告、読者投稿、開催案内、書籍紹介、レシピ</p>
地方版	<p>企画 都道府県情報員等による地域密着取材</p> <p>連載 地方の農政・農業問題、イベント、農業者の取り組み…他</p>
くらしと文化面	<p>企画 食と農から健康生活、充実したくらしを応援</p> <p>連載 家庭のクリニック、俳壇・歌壇、幸せへの一滴、相撲…他</p>
地域面	<p>企画 列島最前線:地域(地帯)別の活性化事例(中山間、都市農業、ブランド化など)を提供</p> <p>連載 地域活性化コラム、鳥獣害対策、シビエの活用、地産地消で給食、ガーデニング、プレゼント…他</p>